

日英語において異なる身体部位詞で対応する慣用表現  
～首より上部に位置する語彙を中心に～

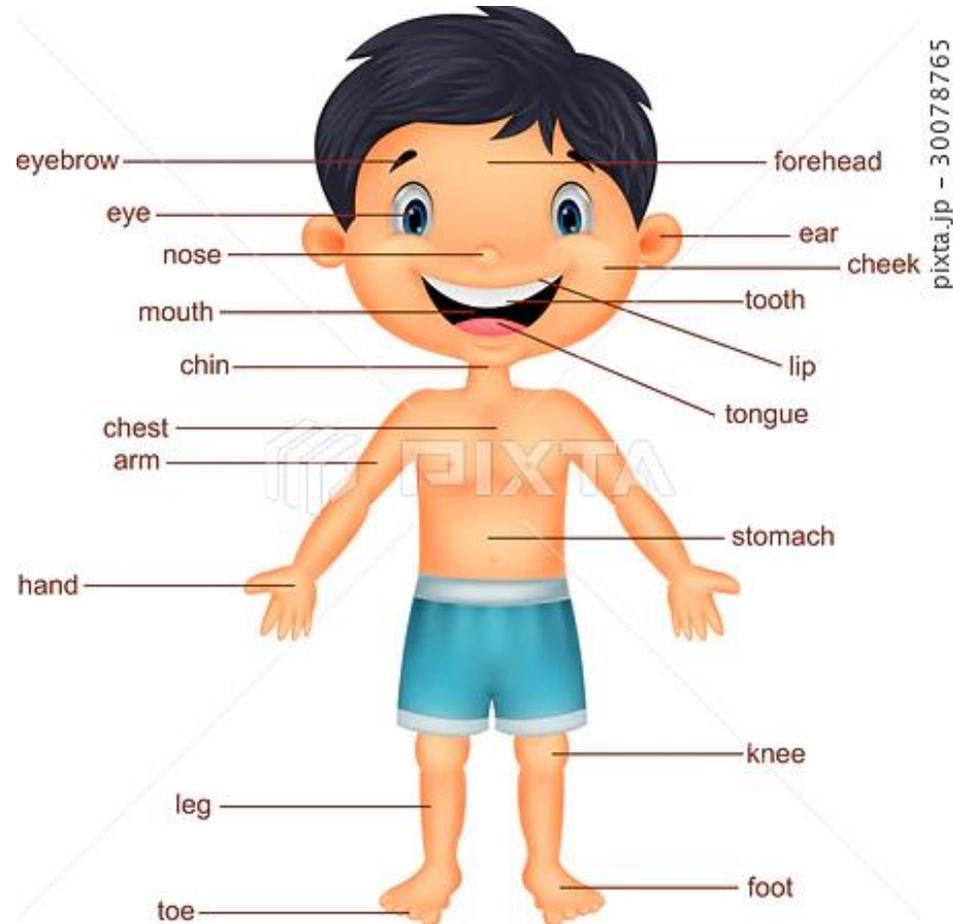
根木英彦（東洋大学）

英米文化学会 第166回例会

2022年3月12日

# 発表の流れ

1. はじめに
2. 概念メタファー
3. 事例の考察
4. まとめ



# はじめに: キーワード

認知言語学 ⇒ 認知意味論 ⇒ 概念メタファー

身体部位詞 ⇒ 慣用表現 ⇒ 日英異なる部位詞

概念レベル ⇒ 差異・共通性

# 研究目的・方法

- 概念メタファーを摘要して、個々の慣用表現の概念レベルにおける差異・共通性を確認する
- 事例は主に日英・英日のイディオム辞典等から引用
  - 日英からの事例を約150例
  - 英日から事例を約280例

# 理論的枠組み

## 概念メタファー — Lakoff & Johnson (1980)

それまで修辞学的(文学的装飾)な単なることばの問題として捉えられてきたメタファーを外界においての身体性を通じて得た認識や概念に起因するとする理論

\* より抽象的な概念をより具体的な概念で理解する

# 認知言語学 概念・メタファー

- 意味＝概念

- 概念

身体性 ⇒ 外的環境との関わり ⇒ イメージ・スキーマ  
感情 判断 投射

身体基盤経験が意味(概念)を作り上げる

**アンチUG**

- メタファー : ことばの問題ではなく概念の問題

# 身体基盤経験とメタファー

HAPPY IS UP ; SAD IS DOWN < 楽しきは上, 悲しきは下 >

高校野球のサヨナラゲーム  
勝者(UP)と敗者(DOWN)



AFFECTATION IS WARMTH < 愛情は温かさである >

母の体温(愛情)を感じる乳児 (共感覚性)



# 先行研究：概念メタファー

- 導管メタファー (conduit metaphors)
- 構造のメタファー (structural metaphor)
- 方向づけのメタファー (orientational metaphors)
- 存在のメタファー (ontological metaphors)
- プライマリー・メタファー (primary metaphors)

## 概念メタファー

# 導管メタファー (conduit metaphors) Reddy (1979)

### LINGUISTIC EXPRESSIONS ARE CONTAINERS.

<言語表現は容器である>

It's difficult to *put* my idea *into* words. 入れ物

<自分の考えを言葉の中に入れる(=言葉にあらわす)のは難しい。>

### COMMUNICATION IS SENDING

<コミュニケーションは送ることである>

It's hard to *get* that idea *across* to him. パイプ

<その考えを通じさせる(=わからせる)のは難しい。>

(Lakoff and Johnson (1980,13)による要約)



## 概念メタファー

# 構造のメタファー (structural metaphor) (Lakoff & Johnson 1980)

ARGUMENT IS WAR <議論は戦争である>

Your claims are *indefensible* .

<君の主張は守りようがない(=弁護の余地がない)。>

(p.4)

TIME IS MONEY <時は金なり>

You're *wasting* my time

<君は僕の時間を浪費している>

(p.9)



## 概念メタファー

# 方向づけのメタファー (orientational metaphors)

(Lakoff & Johnson 1980)

HAPPY IS UP ; SAD IS DOWN < 楽しきは上, 悲しきは下 >

I'm feeling *up*.

< 気分は上々だ。 > (p.19)



CONSCIOUS IS UP; UNCONSCIOUS IS DOWN < 意識は上, 無意識は下 >

Get *up* < 起きろ。 >

He's *under* hypnosis. < 睡眠状態の下にある > (p.20)

## 概念メタファー

# 存在のメタファー (ontological metaphors)

(Lakoff & Johnson 1980)

**INFLATION IS AN ENTITY** <インフレはひとつの存在物である>

*Inflation is lowering our standard of living .*

<インフレがわれわれの生活水準を低下させている。>

(p.38)

**THE MIND IS A MACHINE** <知力は機械である>

*My mind just isn't operating today.*

<私の頭は今日は全然作動して(=働いて)いない。>

(p.42)

## 概念メタファー

# プライマリー・メタファー (primary metaphors) (Grady 1997)

プライマリー・メタファー:

独立した**直接的な基盤経験**を持ち、それによって言語的データを予測することができるもの

**直接的な基盤経験**

原初的に人間が経験する基本的な場面において、運動感覚的 (sensorimotor) な経験と主観的な経験・判断がなされるような場合を指す

複合的(慣例的)メタファー: (complex metaphors)

複数のプライマリー・メタファーから合成された複合的なメタファー

## 概念メタファー

### プライマリー・メタファー (primary metaphors) (Grady 1997)

**AFFECTATION IS WARMTH** (愛情は温かさである)

(運動感覚領域: 温度 → 主観的判断: 愛情)

“They greeted me warmly.” (彼らは私に温かく挨拶をしてくれた。)

**INTIMACY IS CLOSENESS** (親密さは近さである)

(運動感覚領域: 身体的な距離 → 主観的判断: 親密さ)

“We’re close friends.” (私たちは親しい友達です。)

# 事例の分析

- 対応する部位 日⇒英 英⇒日
- 日英語で対応が重なる部位
- 身体部位と対応語数
- 事例の分析
  - 頭・head 首・neck 目・eye 鼻・nose 毛・hair
  - 口・舌・顎 mouth・tongue・chin/ jaw
- 身体部位のメカニズム 一概念化の要因一
- 対応する部位の関係 換喩・提喩

# 事例の分析 対応する部位 日→英

1 頭: eye nose hair brain ear **blood**

2 顔: cheek chin

面: head **skin** heel leaf

3 額: head face brow hair eye

4 目: neck head **body** hand ahead **back** face **heart** tooth  
heart nose teeth **side** **flesh** tongue **backside**

目頭: eye

5 鼻: cheek jawl face head **palm** **nerve**

6 耳: head

7 口: tongue head lip nose tongue **arm** palate beak

8 齒: head

9 舌: mouth palate

10 顎: lip head **side** mouth

11 首: eye ears teeth hair head nose brain **heel** **shoulder**

12 喉: mouth lip **body** tongue

13 毛: **skin** cheek teeth

# 事例の分析 対応する部位 英→日

1 head: 首 腹 目 手 顔 額 身 鼻 背 胸 面 骨 齒 腕

2 face: 口 腕 目 体面 手 あご

3 forehead:

4 eye: 頭 手 面 鼻 腕 まゆ 首 身 腹

5 nose: 目 尻 顔 首 頭 しっぽ(尾) 面 身 あご 口 腹 耳

6 ear: 目 手 首 つら 口 足 くちばし

7 mouth: 手 つら 舌 頭 顔 齒 腹

8 tooth: 手 牙 腰 骨 口 面 肝 舌 身 神経 目 肉

9 tongue: 口 耳 唇 のど 首 目 肉 腹 皮

10 jaw: 腹 舌 口

11 neck: 骨 背 頭 目 耳 肩 身 足 肉 手

12 throat: 耳 腹 首 頭 耳 口 足

13 hair: 頭首 腹 頭皮 耳 羽根 肝 身 額 顔

14 cheek: 面 皮 あご

15 lip: 舌 口 身

# 事例の分析 日英語で重なる部位

1 頭: eye nose hair brain ear blood

head: 目 鼻 首 腹 手 顔 額 身 背 胸 面 骨 齒 腕

2 顔: cheek chin

face: 口 腕 目 体面 手 あご

4 目: head face neck body hand ahead back heart tooth

heart nose teeth side flesh tongue backside

eye: 頭 面 鼻 手 腕 まゆ 首 身 腹

5 鼻: cheek jowl face head palm nerve

nose: 目 尻 顔 首 しっぽ(尾) 面 身 あご 口 腹 耳

7 口: tongue head lip nose tongue arm palate beak

mouth: 手 つら 舌 頭 顔 齒 腹

# 事例の分析 日英語で重なる部位

9 舌: mouth palate

tongue: 口 耳 唇 のど 首 目 肉 腹 皮

10 顎: lip head side mouth

jaw: 腹 舌 口

11 首: head eye teeth hair nose brain heel shoulder

neck: 頭 目 骨 背 耳 肩 身 足 肉 手

12 喉: mouth lip body tongue

throat: 耳 腹 首 頭 耳 口 足

13 毛: skin cheek teeth

hair: 頭 首 腹 頭皮 耳 羽根 肝 身 額 顔

# 事例の分析 身体部位と対応語数

日英		対応語数		英日	対応語数
1	目	16		head	14
2	首	9		nose	12
3	口	8		tooth	12
4	頭	6		hair	11
5	鼻	6		neck	10
6	額	5		eye	9
7	顎	4		tongue	9
8	喉	4		face	7
9	面	4		ear	7
10	毛	3		throat	7
11	顔	2		mouth	7
12	舌	2		jaw	3
13	耳	1		cheek	3
14	歯	1		lip	3
15	頬	0		forehead	0

# 事例の分析

- 頭 ▪ head
- 首 ▪ neck
- 目 ▪ eye
- 鼻 ▪ nose
- 毛 ▪ hair
- 口 ▪ 舌 ▪ 顎    mouth ▪ tongue ▪ chin/ jaw

# 身体語彙の定義 「頭」と“head”

日英比較 英語のheadは首(neck)から上の部分を指す。したがって、日本語の「首」や「顔」に相当する部分があるが、「頭」とはくい違う場合が多い。というのは日本語の「頭」は髪の毛の生えている部分を指すことが多いからである:

Don't put your *head* out of the window.

(窓から顔「頭部」を出すな)

この場合のheadも「頭」と訳すことはできない。電車などの窓から出すのは日本語では眼のある部分、つまり「顔」だからである。

(新和英大辞典)

# 事例の分析 1 頭 怒り

彼は長い間待たされて頭から湯気を立てて怒った。

He had steam coming out of his ears after having been kept waiting so long.

ANGER IS A HOT FLUID IN A CONTAINER

(怒りは容器の中の熱い流動体である)

(Kövecses 2000)

# 事例の分析 1 頭 怒り

形状性 : 容器

機能性 : 沸騰 蒸気の排出 ⇒ 怒りの放出

生理的 : 怒り ⇒ 体温の上昇

概念 : 怒りは熱である

怒りが爆発する

はらわたが煮えくりかえる

溜まっているものの放出

体積した感情の解放



# 事例の分析 2 頭 介入

1. ひとのことに**頭**を突っ込むのはやめてくれ。

身体名イディオム和英辞典

Stop sticking [poking ] your **nose** into my business

2. 他人のことに**口**を出さないで。

身体名イディオム和英辞典

Don't stick your **nose** into other people's private affairs.

3. 他人のプライベートに**首**を突っ込むな。

身体名イディオム和英辞典

Don't stick your **nose** into other people's business

4. **鼻**を突っ込む これは使える体ことば辞典

5. **膝**を容れる これは使える体ことば辞典

**INTERVENTION IS STICKING** <介入はつつこみである>

# 事例の分析 2 頭

形状性 頭 首 鼻 膝 nose

物理的に先端がとがっていて(突き出っていて)  
何かに突っ込み(介入)ができるイメージ  
突っ込む: 勢いよく中へ入れる。

機能性 □

形状ではなく機能性: 発話に焦点  
出す: 自分の範囲内のものを外の方へ動かす



# 身体語彙の定義「首」と“neck”

## 日英比較

日本語の「首」は頭と頸をつなぐ細い部分と、「頭部」という両方の意味で使われるが、英語のneckは前者の意味のみである。したがって「首を横に振る」という日本語の「首」は英語では shake one's head のようにheadとなる。

(新和英大辞典)

# 事例の分析 3 首 困難

1. 彼女は借金で首が回らない。

身体名イディオム和英辞典

2. 彼はギャンブルにはまり、首が回らない。

身体名イディオム和英辞典

3. 彼は借金で首が回らなくなり、家を手放さなければならなかった

身体名イディオム和英辞典

1. She is up to her neck in debt.

2. He is addicted to gambling and is up to his eyes [ears].

3. He was over his head in debt, and had to sell his house.

up to one's body ~まで埋まっている

埋没レベルが上がるほど、身体的自由は効かない

# 事例の分析 3 首 up to one's body

動作性 プライマリーメタファー 直接的な基盤経験

TROUBLE IS UNTURNABLE

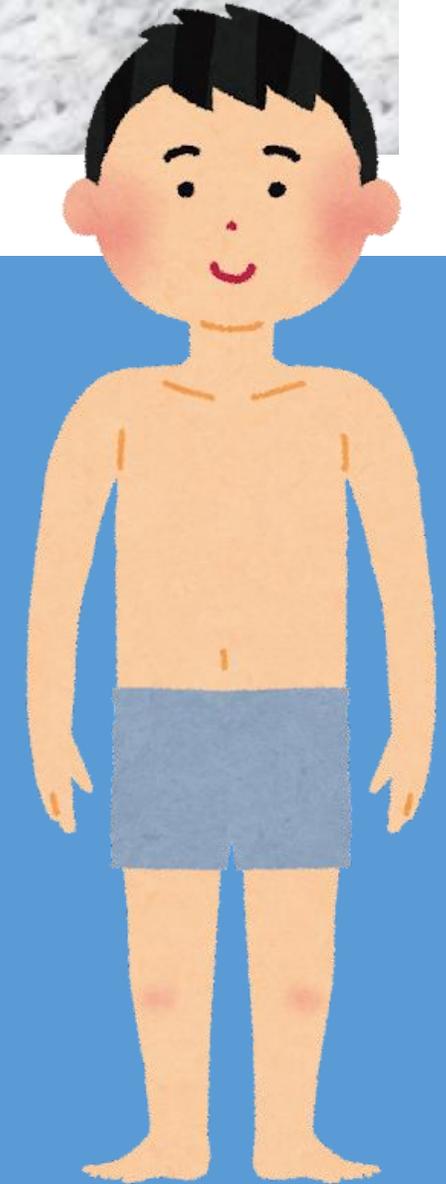
困難は回転不可能

TROUBLE IS EMBEDMENT

困難は埋没である

TROUBLE IS STIFFENING

困難は硬直である



# 事例の分析 4 目 経験

ひどい目に遭うのは君だよ。

身体名イディオム和英辞典

目→経験 EXPERIENCE IS SEEING <経験は見ることである>  
ネットやテレビが無い時代、自分で直接みたことが経験になる

\*平家(13C前)二

「山王大師の神罰冥罰をたひどころにかうぶって、かかる目にあへりけり」

日本国語大辞典

It's you who will really get it in the neck.

「首切りの刑を受ける」ことから

EXPERIENCE IS PENALTY <経験は刑罰である>

# 事例の分析 5 目・歯

eyetooth 犬歯

《歯学》上顎（じょうがく）犬歯. 目の下の位置にあることより.

cut one's eyeteeth 由来 犬歯が生える

(1) 経験を積む, 大人になる, 世慣れてくる.

EXPERIENCE IS ERUPTION <経験は萌出である>

# 事例の分析 6 目 位置:方向性 空間・時間

1. 試験は目の前に迫っている。時間

身体名イディオム和英辞典

The examination is close at hand.

2. 結婚式の日が目の前に迫っていた。時間

身体名イディオム和英辞典

The wedding day was just ahead.

3. 母親の目の前でその子は交通事故にあった。空間

身体名イディオム和英辞典

The child had a traffic accident before his mother's eyes.

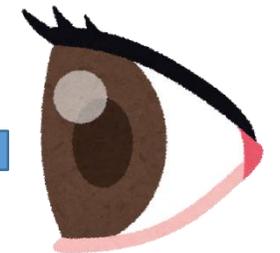
4. (気づかれずに)すぐ目の前で 空間

身体名イディオム和英辞典

認知主体

(right) under someone's (very) nose

出来事



# 事例の分析 6 目 位置:方向性 空間・時間

目の視覚機能:方向性

視線の方向性の先に事物(出来事)が存在している

空間領域(より具体的)から時間領域(より抽象的)への比喩写像

FORESEEABLE FUTURE EVENTS ARE UP (and AHEAD) (Lakoff 1980)

<予知できる未来のことは上(かつ前方)> 目 eye 前方

FORESEEABLE FUTURE EVENTS ARE DOWN <下> nose

FORSEEABLE FUTURE EVENTS ARE TANGIBLE hand

<予知できる未来は接触可能性である>



# 事例の分析 6 目 距離 方向 位置

目と鼻のさき (空間) 齋藤和英大辞典

目と鼻の距離 ⇒ 認知主体から事物への距離(近接性)に投射

CLOSENESS TO OBJECTS IS CLOSSNESS BETWEEN AN EYE AND NOSE

＜事物への近さは目と鼻の近さである＞

EVENTS ARE AHEAD <出来事は前方である＞

「目」(方向性)が抽象的に時間に意味拡張したのに対して、「目と鼻」(距離)は空間の意味しか表さない制約が存在する可能性がある

# 事例の分析 7 目 好物

(～に)目がない I have a sweet tooth.

cf: He has a great tooth for oranges (彼はオレンジが大好物だ)

ジーニアス英和大辞典

**目** 機能: 視覚の欠如 ⇒ 判断できないほど夢中である

**tooth** 機能: 咀嚼 ⇒ 糖質(味)から身体(歯)への投影

sweet tooth は toothsome (おいしい) に由来する

FAVORITE IS BLIND <好物は盲目である> **目**

FAVORITE IS CHEWING <好物は咀嚼である> **tooth**

# 事例の分析 8 nose

(always) have one's nose in a book.

いつも本に顔をうずめている、本をよく読む

ロングマン イディオム英和辞典

誇張： 身体(nose 顔) と物体 (本)との距離

換喩： 顔 nose と 目(視覚)

感覚： 物体との身体的近さ： 好ましい行為

ABSORPTION IS CLOSENESS <没頭は近接性である>



平たい顔族



# 事例の分析 8 人種別 鼻の高さ

- ・「Mental Floss」は、寒冷の北欧に暮らすヨーロッパ人の細い鼻は、低温で乾燥した空気を加熱、加湿する役割があるとする専門家の意見を紹介している。
- ・曰く、吸い込んだ冷たい空気が鼻腔(鼻の穴)を通るとき、鼻粘膜によって湿気が加えられ、粘膜へ流れてくる血液により温められているそう。これは、**冷たい空気が直接肺に入ることを避けるための機能**。鼻腔が狭くなれば、その分鼻も大きくなることから、緯度の高い(寒冷地)の人の鼻ほど細く高くなる  
<https://tabi-labo.com/277304/humannoses>

日本人の平均の鼻の高さ 17mm

欧米人(白人)?

# 事例の分析 9 hair 恐怖

make a person's hair curl

人を震えあがらせる、肝をつぶさせる、ひどく驚かせる

ビジネスパーソンのための英語イディオム辞典

形状の変化 ⇒ 感情の起伏

FEAR IS TRANSFORM <恐怖は形状変化である>

# 事例の分析 10 毛 勇気

彼は心臓に毛の生えたような男だ 身体名イディオム和英辞典

He is really thick-skinned.

社長に向かってあんなことを言うとは彼は心臓(肝)に毛が生えている

He has a lot of cheek to say that to our president. 身体名イディオム和英辞典

**BRAVERY IS PROTECTION** <勇気は防御である>

# 身体部位の概念化へのメカニズム

隣接性	口・舌	顎・唇	頭・首	頭・顔	頭・髪
形状性	頭・首・鼻・膝（突き出た形状）				頭（容器）
	肝（変化）				
機能性	口（発話）	目（視覚・認識）	毛（保護）	頭（思考）	
	歯（味覚）		手（触知）		
動作性	首（回転）				
方向性	目・鼻・頭（前方・下方）				
距離	目と鼻				

# 対応する部位の関係 1 換喩

彼女には気をつけて、**口**がうまいから。 身体名イディオム和英辞典

You have to take care because she has a smooth **tongue**.

彼は**舌**の根の乾かぬうちに辞任しないと言い出した 身体名イディオム和英辞典

When the words were fresh out of his **mouth**, he said he would stay in his post.

彼女の作る野菜スープは**顎**が落ちるほどおいしかった。 身体名イディオム和英辞典

The vegetable soup she made was **lip**-smacking good.

# 対応する部位の関係 2 換喩

頭をなやます

身体名イディオム和英辞典

Rack [cudgel] one's brain (s)

彼は頭を丸めて自責の念を示した。

身体名イディオム和英辞典

He shaved his hair to express his remorse.

Heads will [must] roll

ジーニアス英和大辞典

首切りがあるぞ、厳しい罰を受ける人が出るぞ

# 対応する部位の関係 3提喩 一部で全体

keep one's **head** down 英和イディオム完全対訳辞典

**身**[息]をひそめている

keep one's **nose** clean ビジネスパーソンのための英語イディオム辞典

トラブルに巻き込まれないようにする、**身**を慎む

get one's **teeth** into 新英和大辞典

〈仕事などに〉**身**をいれる

# 対応する部位の関係 4提喩

侮辱されて彼女は本当に頭に来た ジーニアス和英大辞典

An insult made her **blood** boil.

私の目の黒いうちはお前に勝つてなまねはさせない 身体名イディオム和英辞典

You can have your own way over my dead **body**.

目の上のたんこぶ 新和英大辞典

a thorn in one's **side**[**flesh**]

# まとめ

- 日英語に共通して、頭部に関する身体部位で対応する語の背景には換喩が関与している
- 日本語の一つの特徴として提喩が関わる「身」や「肉」のような身体全体を表す語での対応が散見された
- 日本語では、ほぼ全ての部位において対応する語彙が頭部だけでなく、それ以外の部位でも対応しており身体部位表現の多様性および、概念領域の広さが確認された
- 概念レベルで考察すると、日英語の慣用表現でのある程度の共通性は確認できたが、差異も存在する

# 展望と課題

- 全体の身体部位詞を分析して対照させる
- 他の言語の異なる身体部位詞で対応する表現を追究する
- 個々の事例の概念化の背景を明らかにする
- 意味論的アプローチだけでなく文化的要因も探る

# 参考文献 辞書類

- 『ビジネスパーソンのための英語イディオム辞典』 浅見ベートーベン (2012) NHK出版.
- 『クラウン英語イディオム辞典』 安藤 貞雄(編)(2014)三省堂.
- 『英和イディオム完全対訳辞典』 ジャン マケーレブ(編) (2003) 朝日出版社.
- 『ジーニアス英和大辞典』 小西 友七 (編) (2001) 大修館書店.
- 『からだことば辞典』 東郷 吉男(編) (2003) 東京リスマチック.
- 『研究社—ロングマン イディオム英和辞典』 東 信行 (2003) 研究社.
- 『日英・慣用句の文化辞典』 山田 政重 (2019) 丸善出版.
- 『オックスフォード現代英英辞典 第8版』 オックスフォード大学出版局 (2010) 旺文社.
- 『オーレックス英和辞典』 花本 金吾(編) (2008) 旺文社.
- 『リーダーズ英和辞典 第3版』 高橋 作太郎(編)(2012) 研究社.
- 『三省堂英語イディオム・句動詞大辞典』 安東 貞雄(編)(2011) 三省堂.
- 『新英和大辞典 第六版』 竹林 滋 (2002) 研究社.
- 『新編 認知言語学キーワード事典』 辻 幸夫(編) (2013) 研究社.
- 『新和英大辞典 第五版』 渡邊 敏郎 (2003) 研究社.
- 『身体名イディオム和英辞典』 木原 美樹子 (編)(2014) 英光社.
- 『日本国語大辞典』 日本国語大辞典第二版編集委員会 (2006) 小学館.
- 『ポケット版 慣用句・故事ことわざ辞典』 謡口 明(監) (2014) 成美堂出版.

# 参考文献

- 有菌智美 (2021)「身体部位詞と形容詞による叙述表現の意味」『認知言語学研究』 Vol.6, 25-44.
- G.レイコフ M・ジョンソン (1986)『レトリックと人生』(訳)渡部昇一 大修館書店. 東京.
- Grady, Joe (1997) *Foundations of Meaning: Primary Metaphors and Primary Scenes*, Ph.D dissertation, University of California, Berkeley.
- 林 八龍 (2002)『日・韓両国語の慣用的表現の対照研究 ―身体語彙慣用句を中心として―』明治書院, 東京.
- 石田プリシラ (2015)『言語学から見た日本語と英語の慣用句』開拓社, 東京.
- 伊藤 眞 (1992)「慣用句対称研究―日・独慣用句の対応関係」『言語文化論集』 第36号, 155-169.
- 小松原哲太 (2021)「身体部位詞の換喩の修辭的効果 ―身体イメージのレトリック―」『動的語用論の構築へ向けて』 第3巻, 118-138.
- 賈恵京・吉田則夫 (2006)「身体語を含む慣用句についての日韓対照研究―『目』の場合」『岡山大学教育学部研究集録』第132号, 115-121.
- 国広哲弥 (1985)「慣用句論」『日本語学』 4:4-14.
- Reddy, Michael J. (1979)“The Conduit Metaphor: A Case of Frame Conflict in Our Language about Language,” *Metaphors and Thought* (second edition), ed. by Andrew Ortony (1993), 164-201, Cambridge University Press, Cambridge.
- 田中聡子 (2002)「視覚表現に見る視覚から高次認識への連続性―視覚の文化モデル―」『言語文化論集』23(2), 155-170.
- 谷口一美 (2003)『認知意味論の新展開 メタファーとメトニミー』 研究社. 東京.
- 松本曜 (2003)『認知意味論』 大修館書店. 東京.
- 宮地裕 (1985)「慣用句の周辺 ―連語・ことわざ・複合語―」『日本語学』4:62-75
- 山梨正明 (2019)『日・英語の発想と論理 ―認知モードの対称分析―』開拓社, 東京.
- Radden, Gunter and Zoltán Kövecses (1999) “Towards a Theory of Metonymy,” *Metonymy in Language and Thought*, ed. Klaus-Uwe Panther and Gunter Radden, 17-60, John Benjamins, Amsterdam.

おわりに

ご清聴ありがとうございました

